(1) N.° 1.345

NOTICIAS DE S. PAULO
(Primeiro Diario Nipponico publicado no Brasil)

4a. Feira, 10 de Novembro de 1937

聖州新報

聖市アキシリオ[illegible] 十六番地 郵函 [illegible]
發行所 聖州新報社
發行人 香山六郎
購讀料 一年[illegible]ミル 一ヶ月三ミル

龍華驛を完全に占據
大上海の陸上交通線遮斷
一部は歩武堂々南市に入城す
我新鋭部隊果敢の進擊

（上海八日）クツカキヨー前面の敵はクツカキヨーの死守を命ぜられた結果、八日拂曉數百名の敵兵が藤井部隊右翼に對して數回に亘る逆襲を試み來つたが藤井部隊の反擊を受け殆んど全滅となつた、此戰鬪で敵の遺棄せる死屍中には旅長の死屍も數へられた、クツカキヨー部落を占據せる藤井部隊は引續其南方陣地より益々增援を得て頑强なる抵抗を續けてゐる敵軍を殲滅すべく猛攻中である、一方石井部隊、脇坂、下技各部隊は聯繫して蘇州河南岸の敵に猛攻を加へ各部隊は一歩々々前進しつゝある ▲モニュメント路を南進中の我部隊は一擧に南下し虹橋路に到達、本日午前九時今次上海事變發端の地大山大尉の眠る虹橋飛行場を完全に占據し屋上高く日章旗を飜へした

（上海九日）川浪部隊は九日午後零時五十分、細見部隊の戰車○○台を先頭に龍華驛に突入、午後四時これを完全に占據しこゝに大上海の陸上よりの交通遮斷を完成した、尚石井、田上兩部隊は引續き西南に向つて進擊中である ▲午後四時五十分、石井、田上、川浪各部隊の一部は歩武堂々南市に入城を開始、南市々街には各所に日章旗が飜つてゐる

（上海九日）追擊に移つた我左翼第一線は蘇州河の鐵橋を越えゼスフィールド公園西方地區より豐田紡に進出した ▲蘇州河より虹橋路に至る南北及びモニュメント路より杭甬鐵道に至る東西の線によつて包まれた長方形の地域內には午前十時半、我軍の完全に占據するところとなり敵影を見ず ▲虹橋、蘇州河南岸、浦東、南市方面より退却中の敵は大倉、崑山等に集結中で我飛行隊は敵退却部隊に對し猛烈なる爆擊掃射を加へ、砲兵部隊は追擊砲火を以つてこれを制壓しつゝあり、歩兵部隊の全面的前進と相俟つて上海西部地帶は目下追擊戰の坩堝と化してゐる ▲午後三時、龍華の松滬警備司令部に日章旗飜へる ▲午後四時、石井田上各部隊の先鋒は龍華飛行場を占據した、同時に南市最南端にある上海第一の名刹龍華寺の東端方面も占領 ▲支那軍殘敵は虹橋路一帶の外人住宅を占據し堅固な陣地により尚執拗なる抵抗を續けてゐるが我軍はこれに對し攻擊掃蕩中である ▲今早曉虹橋鎭を奪取した和知、淺間兩部隊は更に南翔攻擊を開始し山內○砲隊と協力、敵主陣地に肉迫、敵は陣地を捨てゝ總退却の兆あり、細見部隊戰車○台は南方より敵の側背を衝き南翔市街に突入、市街の一部は我戰車隊の蹂躪に委ねられてゐる ▲淺間、和知の諸部隊は虹橋鎭を拔くや敗敵を急追、南翔に猛攻を加へつゝあり、南翔方面の敵も遂に今朝來退却を開始し目下西北方に向け潰走中なり

敵自動車隊を思ふ存分爆擊

（上海八日）連日の降雨と密雲とに脾肉の嘆をかこつてゐた我陸軍飛行部隊は八日、久方振りの晴れ空を仰ぐや早朝より勇躍出動、全力をあげて地上部隊の猛擊に協力し日沒に至るまで果敢な爆擊を行つた、中にも龍野、鷹兩部隊長の指揮する○○機編隊軍は午前十一時頃、西方虹橋方面から崑山方面に移動する敵自動車數百台が蜿蜒長蛇の列をなしてゐるのを發見、餌物とばかり爆彈の雨を降らせて思ふ存分これを爆擊した一彈一彈と面白い樣に命中する爆擊の威力に數百台の自動車は或ひは乘員諸共空中高く吹上げられるもの或ひは路傍に破壞顚倒するもの乘員や敗殘兵は先を爭つて外に飛び出し中には銃も劍も投げ捨ててクリークの中に突び込むものあり周章狼狽を極めてゐる有樣が空中から手に取る如く見受けられ此大部隊を全く潰滅せしめ近來久し振りの壯快なる爆擊行に隊員一同溜飲を下げた

退却の支那軍放火
南市西南方面に大火災

（上海九日）總退却中の支那軍は九日午前七時を期し警備司令部、兵營、市政府等重要機關に放火し南市西南方より龍華に到る地域數ケ所に火災を生じ炎々として燃え上つて居り同地方面の居住民は雪崩をうつて佛租界に避難しつゝある、尚我豐田紡も放火の爲め目下炎燒中 ▲敵が退却に際して南市に放つた火は徐家匯路を南北に繫ぐ打浦路一帶に亘り恰も南市を東西に遮斷するが如く炎々として燃え擴がり北寄りの强風にあふられてゐるが敵の掠奪と大火に怯へた南市龍華方面の居住者は雪崩をうつて佛租界に逃げ込みつゝあり、佛租界當局は之が制止に躍起となり非常な混亂を呈してゐる

（上海九日）我軍の猛擊と敵の總退却により上海全市は今や日本軍によつて取卷かれ市民の安全を確保するに至り居住外人は勿論、支那人までも遽に明朗性を取り戻し市內の經濟界も刮目を開いた形で外、支人は我軍の勇猛果敢なる進擊に感謝をさゝげてゐる。敵軍は總退却に際し略奪暴行等惡虐の限りを盡し租界近接地區では外人の見てる前で殘虐の行爲を敢てし今更ながら外人を驚かせてゐる

日本軍の實力を怖れ
蘇聯邦になん論擡頭
ブリユッヘル元帥苦境に立つ

（東京八日）京城發、確實なる筋に達した情報に依ればソヴィエット聯邦當局は支那事變勃發を好機として支那に對し凡ゆる積極的扶助を與へ日本軍の戰鬪力を消耗せしめ極東赤軍の優勢を確保すべき蘇支不可侵條約の僞裝下に武器彈藥兵員の供給を約し得意の策謀を試みやうとしたが、其後日本軍の實力の意外に强大なること國民の擧國的銃後支援が熱誠を極めてゐるのみか蘇聯の對支援助に對する憤激が漸次熾烈となり其趨勢を以つてすれば支那を膺懲した日本軍が鋒を轉じて一擧に極東赤軍に當るも尚綽々たる餘力を存し居るを見、極東赤軍首腦部間には早くも日本の極東進行を危惧し對日政策を轉換して日蘇間の空氣緩和を圖るべしとの聲漸く昂りつゝあり 從來對日開戰の急先鋒であつたブリユッヘル元帥もその包懷せる意見と現實に目前に展開せられた實情との間に板挾みの苦境に立つに至つたと觀測されてゐる

「日獨伊萬歳！」
帝都は火の海
防共協定成立に湧き立つ

（東京八日）日獨伊防共協定の成立を祝する一万二千名の大提灯行列は七日夜東京市內私立中學、青年學校生徒、市聯合青年團等參加の下に盛大に擧行された、日比谷公園音樂堂前に集合した長蛇の火の列は先づ宮城前廣場で皇居遙拜、聖壽万歳、日獨伊防共協定成立万歳を叫び次で麹町永田町のドイツ大使館前に至り更に霞ケ關、赤羽橋を經てイタリー大使館前に至り祝意を表した後芝公園で解散したがイタリー大使館では門前に歡迎と書いた大提灯を中心に左右に無數の提灯を飾り玄關には平和と書いた提灯を揭げアウリッチ大使以下館員總出で行列を歡迎し日獨伊万歳の火の海と化した

エッ漢鉄路の支那公債激落

（ニューヨーク七日）ニューヨーク市場に於ける五分利エッ漢鐵路の支那公債が五日に俄然一大激落を演じたのは戰局の前途をトする上に大いに注目すべきである、即ち同公債の最近の打擊は三月十七日には六十六ドルであつたがそれが去る五日には三十九ドル八分の七に暴落したのであるから此間二十六ドル八分の一といふ激落を示した、支那が對外的に如何に僞瞞放送をするも相場は正直なものから最近に於ける支那軍の敗戰振りを如實に反映してゐるものである

張滿洲國總理
治法撤廢の謝禮訪日
福岡でステートメント發表

（東京九日）滿洲國張總理が治外法權撤廢の謝禮として日本を訪問して來たので東京市では十一日午后七時から中等學校生徒、青年學校生徒、青年團員、防護國員數千餘名で歡迎大提灯行列を行ふことゝなつた

（東京九日）福岡發、訪日答禮使張國務總理は福岡飛行場で左の如きステートメントを發表した

今回余が日本を[illegible]ることになつたのは去る五日、新京に於て調印を見た治外法權撤廢及び滿鐵附屬地の行政權移讓に關する條約につき友邦日本の交誼に對し親しく日本朝野に對し深甚なる謝意を至さんとすることと、二つは現下、友邦日本がアジア肅正の公師を進め連戰連勝を續けつゝあることに對し感謝と慶祝の意を表すると共に我滿洲國は其國是たる日滿不可分の關係に立脚し共同防衛の精神を高揚して擧國、日本を後援しつゝある熱意をお傳へせんとすること、三つには日本國民が万古ゆるぎなき皇室を中心として團結、滅私報公の誠を至されつゝあるを見舞ひ不幸戰場に於て或ひは倒れ或ひは傷つきたる忠勇なる將兵に對し我國民の可重なる弔意を表し又は慰問をなさんとすることである、今や東亞の直面する時局はまことに重大であるが我滿洲國は如何なる場合に於ても日本と世界に於ける運命を共にするものである

"東京大會を變更 フィンランドに移せ"
▽……ユーゴー國に反日熱昂る

（パリ六日）ユーピー通信によると支那事變勃發以來ユーゴースラヴィア國に反日熱昂まり中歐諸小國へ漸次波及の勢を示してゐるが最近に至つて妙な方面に形を變へ一九四〇年のオリンピック東京大會は之を中止フィンランドで擧行すべしとの說が擡頭して來た、彼等の主張によると日本の政治イデオロギーはオリンピック大會の精神たる「國家間の親睦友好」と合致しないのださうである、斯くてユーゴー國オリンピック委員會は國際オリンピック委員會來年度集會に於て「東京大會をフィンランドに變更の件」を上提討議すべしと申込んだ由である、佛國オリンピック委員會では歐洲の他の數ケ國でも同樣の意見が擡頭してゐる旨報告を得てゐると傳へられるが佛國同委員會では未だ何等意志表示を行つてゐない、然し大會開催地變更の如きは最も愼重を要する問題であり且つ最後の決定權は何と云つても大國側が握つてゐるのであるから之等中歐諸小國の似而非平和的策動が効を奏するとは目下の處考へられない

"杭州灣上陸で 戰局は急轉回"
英記者皇軍の進擊に驚歎

（ロンドン八日）英國有數の從軍記者として知られるデイリー・テレグラフ紙ステイバンス特派員は八日上海發特電に於いて果敢なる皇軍の進擊振りを賞歎、支那敗退を予言して左の如く報じてゐる 支那軍は先週來、太原、上海兩地に於いて大敗を喫した、兩方面に於ける日本軍の勝利は將兵の强いことは勿論だがその優ぐれた指揮並びに裝備に於いて斷然優ぐれてゐる爲だ、北支では山西省の敵を掃蕩、側面の脅威を除き北支五省の占領を完成するため黃河に向け自由に進擊することとなつた、更に南方に於ては支那軍の虛を衝いて見事成果を收めた杭州灣上陸に依り上海戰線は急速に日本軍に有利に展開しつゝある、上海地區の支那軍はこの腹背よりの壓迫に對し今後二、三日間以上は持ち堪へられぬであらう

娘子關方面 支那軍損害

（天津六日）無敵皇軍の赫々たる戰果を物語る十月十七日より二十八日に至るまでのカイカンイン及び娘子關方面に於ける敵の損害は次の通り 敵死傷累計三千二千百、鹵獲品馬五百十三頭、車二千、野砲山砲十四門、輕機重機四、迫擊砲一門、小銃彈約三十一万發、軍用列車一

北支棉花會社設立

（東京六日）大阪發、紡績聯合會では五日臨時總會を開催席上、庄司委員長より興中公司と紡績聯合會、在華紡績同業會並に棉花同業會の棉業三團體が共同出資で北支棉花會社設立することに決定した旨を報告諒解を求めたが右棉花會社は資本金三百万円中百万円を興中公司、二百万円を棉業三團體會社が出資するもので三團體では六日之が出資方法其他に就き協議することになつた

十一月號
ブラジル日本人教育普及會
黎明

Dr. R. Uchida
R. M. Goulart, 76-P. Prudente-Tel. 150-C. P. 248
同仁會 地方醫局
ドトール 內田利藤次
ソロカバナ線 プ・プルデンテ市マノエルゴウラルト街七六
郵函 二四八
電話 一五〇

治病體驗二十ケ年餘短日輕費
如何なる難病も不思議に治る
無痛無痕藥玉名灸
簡單的確偉効絕大斷食療法
家傳 骨接ぎ打身捻き
鍼灸高等專門學校出身
治病本意 中村鍼灸骨接所
リンス市城間旅館隣り
▼特に惡疾の難病者迷はず來れ
不治に悩む方手術嫌ふ方
吃度速に責任治癒せしむ

バウル驛前
澤尾ホテル
電話 一三五
郵函 六十八

●切味の良品は製作者の心の力による眞に切れる
宗貞の刃物
リンス市 藤原宗貞
郵函 二〇三

●體に良く 味が良い
富士山印 醬油
ノロ線 エランジア驛
藤澤登次郎

診察時間 午前九時より午后五時迄
北大醫學士
今田求
リンス市 ビンチイウジ デ アブリール オスピタール街角
電話 一四三
郵函 二〇三

悲しい人は讀め！ 淋しい人は讀め！ 失意に泣く人もやつて來い
三十一文字の中に一切の人生の苦惱と寂寥とを寄せて雄々しく明日の戰を續けよう！ 惻々として胸を搏つこの若き聖報歌集の中に私達は無限の愛慕を感ずると共に新しい人間の天地を發見する
來りて讀め 購ひて讀め
定價 三ミル 送料一冊六百レース（書留）（郵券代用可）
NOTICIAS DE S. PAULO C. P. 2765 S. Paulo 宛

BancoEspeciedeYokohamaLtda.
The Yokohama SpecieBank Ltda.
Caixa, 380 Rio de Janeiro

◉郷里送金
新令に基いて後申込に從ひ申請の上許可を得て御取扱ひ致します。法令によりまして唯今の處送金金額は一ケ月一人につき二コントス以內しか出來ません送金は無手數料で御指圖通り御取計ひ致します

◉日本貨預金
當行內地各店の定期預金又は特別當座預金とせらるるため御送金なさる場合は前項に準じて御取扱ひ致します。定期預金利息は現在年三分三厘の割であります
當行各店發行円貨其他の預金、證書、特別當座預金等は期日可成好い相場にて御買取伯貨にて御支拂ひ致します

◉伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三分五厘の御定めであります
外に當座預金特別當座預金等御便宜御取扱ひ申し上げます

橫濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

Armazem Kaiko Ltda.
Rua da Cantareira, 546
Caixa Postal, 1602 S. Paulo
農產物委託販賣
各位の御便利を計るためコニエシメントに對し御融通申上げます
アルマゼン海興
サンパウロ市 カンタレイラ街五四六
電話 四ー六五四四

ドンペードロセグンド病院
外科、內科、產婦人科、X光線ジアテルミア
聖市ルアダフイグーラ八番 電話 三ー三一四一番
ドクトール 竹下貞一
自宅 ルアコロネル、ベントピレス一〇七番 電話 二ー一八九九番（病院ノ近ク）
診察時間 午前中自宅 午后病院

CASA NAGAO
Compra e Venda Gereaes
BAURÚ
味噌醬油製造元
長尾商店
バウル驛ソロカバナ三九番
日本品內外雜貨農產物仲買

カーザ東山
Casa Tozan Ltda.
Praça Mauá, 25-Caixa Postal, 911-SANTOS
Telephones: 2105 e 2106 End. Telegra. TOZAN
東山銀行部
伯貨定期預金 壹ケ年六步
サンパウロ事務所
Rua Florencio de Abreu, 76-Caixa Postal, 528-São Paulo
Tels. 2-1865, 2-2981 End. Teleg. "TOZAN"
リンス事務所
Av. Voluntario Rosalino Silva, 147 - Caixa Postal, 11 - Lins
Tel. 240 End. Teleg. "TOZAN"

新政策實施の曉は 對日珈琲輸出進まん

十五志税の引下げと輸出爲替公定相場變更で

急角度に

サントス、リオ、ヴイトリア三珈琲取引所臨時閉鎖を前提とした政府の新珈琲政策に就いては現在まで何ら具体的方針の發表は行はれて居ないが大體に於て十五志税（四十五ミル税）を三志（九ミル）或は十三ミル位に引き下げ輸出爲替の公定相場買上率の三割五分を二割位に變更するものと見做されて居る、之を分り易く説明すれば從來假りに一袋の珈琲の輸出相場が輸出税を含めて百四十五ミルであつたとすれば、該税の引き下げで三十四、五ミルの安値となり更に公定相場の變更で五、六分位の開きを見る事となるから結局從前百四十五ミルに輸出されたものが百ミル少々で輸出される譯となるものである故今次の政府新政策が全世界の珈琲市場を震駭せしめた所以なのである 猶新輸出政策實施の曉は對日輸出等も急角度的に展開するのではないかと見られて居る

駐伯ローマ法王廳大使表彰晩餐會

本日・澤田大使主催

澤田帝國大使は本月十日大使官邸に於て駐伯ローマ法王廳大使表彰の晩餐會を催す事となつて居るが、晩餐會出席者外人側氏名左の通りで日本側からは澤田大使、天城參事官澁澤、小峯兩書記官並に夫人齊藤通譯官夫妻が出席する

▼ヴアチカン廳大使▼サンテ・ボルタルビ僧正（大使秘書）▼コースタレゴ僧正▼アポストリコ・モンセニヨー・サンテボルタルビ大僧正秘書▼モンセニヨル、ボスタリゴ▼セナドール・コスタ・レゴ上院議員外交委員長▼ポルトガル大使夫妻▼ルイス・ギマランエス駐亞伯國大使夫妻▼エウバルヂロッヂ下院副議長▼實業家ドトル・ルイス・ドルウエイ▼實業家ドトールムルチーニョ・ノーブレ夫妻▼ドトール・ソウザ・レオン外務省大臣官房書記官▼辯護士ドトール・アントニオ・メスキッタ▼マリエ・ゴンサルベス●デ・クーニヤ孃▼元駐日伯國大使弟ミニストロ・グルゼル・ドトール・アマラール夫妻▼醫師ドトール・レオン・ペドローゾ夫妻（元駐日大使弟）

辭職した—マセド法相

後任はフランシスコカンポス教育総長

マセド・ソアレス法相は去る五日附を以てゼツリオ大統領宛を以て繁務、健康を損じ今後到底職責を果すこと不可能なるを以て不本意ながら辭職致し度しと云ふ意味の書面を送附し、其の聽許を待つて居た處ゼ大統領は去る八日附、辭表受理の旨回答した ゼ大統領は右返書の中でマセド氏の政治的功勞を稱揚して氏の協力を得ざることを遺憾とし追て他の政治的地位に於て氏の協力を得たい事あるを表明した 尚後任には前文相、現教育總長ミナス出身のフランシスコ・カンポス氏が任命された（リオ發九日）

Noticias de S.Paulo
(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)
DARIO P. ALMEIDA
DIRECTOR
ROCRO KOWYAMA
PROPRIETARIO
Caixa Postal, 2765
Telephone 2-5655
Rua Assembléa No. 16
SÃO PAULO – BRASIL
ASSIGNATURAS
Anno - - - - - 30$000
Semestre - - - 15$000
Numero do dia - - $500
Exterior, anno - - 60$000

「これぞ眞の聖戰」

上海を逃れ來た退役英國中佐 感激の恤兵金を献納

（東京ラヂオ九日）先ごろ戰火の上海をのがれて來朝目下東京丸ノ内ホテルに滯在中のスコツトランドの退役陸軍中佐G・Hグレーブス氏夫妻は日露役當時からの親日家でこんど上海で「大山大尉事件」を見て來てゐるだけに暴戻支那軍に對して軍人らしい正義觀から非常な反感を懷いてをり、わが銃後の運動に刺激され恤兵部を訪れ慰問文に添へて英蘭銀行の小切手で卅ポンド（邦貨約五百十円）の献金を申出た グレーブス中佐談 私共は大山事件を眼のあたりに見て今さらながら支那軍が不信不實の軍隊であることをはつきり知りました、少數の兵で數十倍の敵軍を相手に戰ふ日本軍人の働きは私どもも外人でも涙なしには見られません、今度の事變こそ文字通り聖戰です、日本軍の奮闘と最後の勝利を心から祈ります

國民政府の上海放棄決意

銀行全部南京引揚

金融機關

（上海九日）中央銀行を始め中國、交通、農民の市府系四銀行の南京移轉問題は英國側の反對からその後中止されてゐたが最近の戰局の急轉回により我軍による上海包圍も間近に迫つたので國民政府は遂に政府系金融機關の上海放棄を決意し數日前之等銀行に對し證券を除き銀行全部の南京引揚を命じたこと判明既に交通銀行は南京支店を本店とし上海本店を支店と改稱することに決定せる旨發表した

關係諸國正式承認 南市避難區

昨九日より實施

（上海九日）上海赤十字國際委員會副會長ヂャキー師の主唱にかゝる南市住民難避地區制定問題は英米佛等關係諸國も贊意を表して居り日本側も人道的見地より既に之を承認してゐたが八日愈鴻鈞市長も委員會に對し正式承認の旨を通告調印を了したので愈々九日正午より民國路と奉濱路とによつて圍まれる地區は正式に南市避難區とされることとなつた

國際玩具展覽會

本月末から

聖市名流婦人團体の慈善事業の一として經營されてゐるイビランガ小兒療養所の基金募集の爲の國際玩具展資金は愈々本月末から來年一月末迄ドン・ペードロ・セグンド公園で開催されるが、邦人側からも多數出品される

モザイク

市毛總領事朗らかに昨午后一時半ルス驛發で下棧し、同日午后七時出帆のウエスタン・プリンス號で歸國の途に就いた、ルス驛頭の見送り人約二百、その中には多數の外人が見えたが市毛外交の現はれだ……とうなづかれた

▲

市毛氏去りし後、新任坂根氏がどれ程迄に外交手腕を揮ふか我々在留民に與へられた宿題であるが、その補佐役淀川氏が今までと異つて外交的に奮闘せねばならぬ、淀川外交獨り舞台の觀がある、中日會問題は第二問題として在留民に一任し、外交方面に主力集中が淀川氏に執つては最も賢明策である

▲

五家族の邦人蔬菜移民が行つてゐるバイヤで外人は邦人移民が汗水流して作つた大根などには見向きもせす、バタタ・ドーセ・ブランコでひやかすだけと云ふ話しだ、何でも此の地方の外人は野菜に對し認識不足甚だしき樣で、それだから邦人蔬菜移民の責任も重たい譯である關係上、勸業部は余り繼子扱にせず、しつかり指導してやることだ

▲

日本クラブも愈々リアシュエイロに移轉中だ、クラブが家主で聖市日會、聯合日會、共濟組合、圖書館、撞球クラブ木下辯護士等に貸部室するが始めて聖市に統轄された？圍体下宿屋が出來る譯だ

▲

宮腰海興支店長は來年度移民入國數を例年通りの三、四月發表前に決定方促進運動のため昨九日リオへ十日間の豫定で出張した

▲

アラサツーバ驛サンジョン小學校生徒は多數の慰問文を總領事館へ送つて來たが、その中には「腹が減つては戰は出來ません、どうぞこの十銒で何かおいしい物を買つて下さい」と慰問文に十銒添へた微笑ましいものもある

▲

總領事館扱の國防献金高は昨九日迄に百四十三コントを突破した

▲

新着リオ丸移民の衞生狀態至極良好であつたが、現在收容所に残つてゐるのは風邪をひいた家長一人もう一人はこれは既に退所したがバナナを喰い過ぎて腹痛を起した青年もあつた

相も變らず好成績 自然增加六四二名

八ヶ月間の總領事館管內

昨年度聖市總領事館管內出生數は一千四百八名、死亡數は四百六十一名で九百四十七名の自然增加を來したが、今年度上八月に總領事館管內の出生數は九百九十三名に達し死亡者數は三百五十一名であるが、相も變らず自然增加六百四十二名となつてゐるがこれを月別にして見ると左の如くである

	出生	死亡
一月	一五二	四七
二月	一一七	四六
三月	一二六	四四
四月	一一二	四二
五月	一〇九	五六
六月	一三五	四一
七月	一二五	三一
八月	一一三	四四

ブラジル大阪商船 聖市支店開設

來年一月より事務開始

大阪商船株式會社サントス出張所では昨年五月一日以降、サントス自營店となり、名稱も大阪商船株式會社代理店ブラジル大阪商船會社と長たらしいものとなり、從つて從來の聖市代理店を廢してサントスと同樣自營とする事とし、愈々來年一月一日より左記の場所に聖市支店を開設し高桑譲氏を支店長として駐在せしめる事とした、電話二−一四四八五

Sociedade de Navegação Osaka do Brasil Ltda.
(O. S. K. Line)
Filial de S. Paulo
Agente Osaka Shosen Kaisha
Rua da Quitanda No. 82 4and.
S. Paulo

藤原氏獨唱會

一般公開 十一、四、六日

滯聖中のテナー藤原義江氏は去る七日オウトモベル・クルブの市毛總領事夫妻送別席上で唄ひ、昨夜はテアトロ・ムニシパルで聖市藝術協會主催の獨唱會で大喝采を博したが愈々明十一日夜はテアトロムニシパルで日本情緒たつぷりなものを唄ふ筈であるが當夜及び十四、六の三日間は一般公開である、入場料は既報の如く一等廿三銒三百、二等十七銒三百三等十一銒五百

鍼灸界の最高峯
難病者來レ！
石井療院
▽治療科目△
治療科・鍼灸科
光線科・電療科
マッサージ科温灸科
院長
元廣島縣屬託
公認鍼灸醫師
石井一郎
石井三郎
パウリスタ線
マリリヤ市キンゼ街四二
ノロエステ線リンス市

戰時立法下の國民經濟は微動だもなし

（東京ラヂオ九日）吉野商相は八日午後、近衛首相を官邸に訪問、戰時非常立法下にある一般物資の需要供給狀態を詳しく説明、時局に對する國民の經濟生活は事變前に比して少しの動搖も生じてゐない旨を述べ尚種々懇談約二時間の後辭去した

宮城縣便り

（東京ラヂオ九日）暮れるに早き東北の秋、各山々は二、三日前から早くも雪を頂き、さなきだに緊張せる縣民の心に一層の引締りを感ぜさせてゐる、非常時下に縣民は質素節約に協力の實を擧げ銃後を護る一般の運動は愈々活潑に行はれてゐる、撿て工事を急いでゐた山形仙台を繋ぐ仙山鐵道も縣境の大島山トンネルは相當の難工事であつたがこゝに竣工を見、明十日より列車の運轉が開始される、仙山線開通で仙台から山形まで二時間半で行ける樣になつたこと

關門海底鐵道工事進む

（東京ラヂオ九日）本州と九州を繫ぐ關門海峽の地下鐵六千三百米のトンネル工事は昨年九月十九日起工式を行ひ、下關―門司の兩岸より工事を進めてゐたが、既に第一次工事の縱穴もこの程竣工、即ち下關の方は直徑五米、深さ五十六米、門司の方は直徑四米二〇、深さ四十六米の工事を完成、來る十五日より愈々横穴トンネル工事に着手することゝなつた、尚それ以前に地質檢査の必要上、最初に直徑二米半のトンネルを兩岸より堀通し、その上本格的の九州と本島を結ぶ大動脈軌道工事が着手される筈である

日の丸印
完全棉
プランタ機

日伯商業協會生る

（東京ラヂオ七日）日伯兩國間の通商關係を益々円滑ならしむるため昨六日リオ市通商局に於て、日伯商業協會の發會協議會が開かれた、日本側からは天城參事官、大野日伯經濟協會理事等出席、ブラジル側からは、前訪日經濟使節團長サルガード氏を日伯商業協會長に推し、こゝに日伯商業協會の成立を見るに至つた

松井大將夫人名古屋へ

（東京ラヂオ八日）上海方面の皇軍最高指揮官として活躍中の松井石根大將夫人はけふ午前九時熱田神宮に參拜、皇軍の武運長久を祈願、續いて同九時半名古屋陸軍病院を訪問、收容中の傷病兵に對しいち〳〵優しき慰問の辭を與へ慰問金一封を置いて辭去した同夫人は今日午後名古屋發歸京の筈

カナカオ肥料
は左記で御求め下さい
カナカオ化學
工業事務所
ブタンタン街二
電話八−二五八七
市內事務所ボアヴイスタ街
二二 六階六一四號室
電話二−五六〇七
中央支店
（メルカード際）
イタブーラ デ ミランダ
街一七電話二−六六三七
パウル支店
ブリメーロ・デ・アゴスト
二ノ一二
野上商店
リベロン・ピーレス市
サント・アンドレ市
鎌田商店
タクアリチンガ市
吉原商店
スザーノ市
叶野商店
ピンダモニアンガバ市
高橋商店
アラサツーバ市
菅山商店
リンス市
マキナセギ
瀨木商會
菅山商店
納見商會
マリリア市
明珍兄弟商會
ジャボチカバール市
船橋商店
ベラクルース町

石材商
墓石、挽臼、記念碑、石像、石燈籠、其他美術彫刻、石材工事、出張工事の御用命にも應じます
內畠祥光
Caixa, 1850 S. Paulo
工場 R. Estudantes, 27
自宅 Villa C. de Sarzedas.226 Tel. 2-1300

鍼灸道の司家
宮內省
典藥頭白川法眼公祕法相傳宗家
顧問 灸法學の泰斗原醫學博士
學理に即し傳統を誇る鍼灸界隨一の
名家
延命山家傳秘法 鍼灸湯治 本院
院長 公認鍼灸醫師
磯谷龍夆
鍼灸醫學得業士勳七等
バ延長線終點ポンペイア驛

記者募集

社會部記者 一名

自信のある方は履歴書添付書面又は本社へ至急御來談乞ふ

聖州新報社
編輯部

子守さん
十三四才の方一人お雇ひたし
聖報社內 山下

見習工急募（但し五名）
絹張、日傘並團羽製造
面談 午後六時ヨリ九時マデ
ノロ線アラサツーバ市郵函三〇〇
守進律夫、

旅館開店御披露
謹呈 各位益々御清詳之段大慶の至りに存じます陳者私儀今般左記場所に於て旅館開業致しました就而清潔、親切叮寧をモツトーとして現代的食事美味調理致し皆樣の御期待に副ふべく努力致しますから何卒寛大なる御厚情と御引立を給り度く當市御出頭の節は是非御來館遊ばされん事を御待ち致します茲に開業するに望みまして重ね〳〵各位の御指導御鞭撻の程伏して奉願上げます 敬白
追而 時間外民衆簡易食堂も設置致します
種目
うどん 天ぷら
支那そば 親子丼
ビール正宗 サイダー
其他いろ〳〵
ビリグイ市ルアルキバルボーザ一八〇（カーザアネメールの下）
我那覇旅館
館主 我那覇生良
各位

聖州新報社

昭和十二年十月

待望

早くも半歳 締切目捷に迫る!!!

三〇コントス抽籤大懸賞

躍り上る幸運獲得の喜びを以て十二月十五日の開籤日を御待ち下さい

未曾有の大賞品を懸けて一万五千の愛讀者に捧ぐる我社のこの奉仕的事業を御記憶下さい

一人が一人を勸めて御自分と一諸に必ずこの抽籤に御參加下さい

一年分購讀料金三十銒先拂の方に抽籤券贈呈

賞品

當籤者四百九十七名

一等	土地十アルケレース
二等	インペリアルミシン
三等	パラゴン蓄音機及レコード
四等五等	イー治療機
六等七等	レオン號自轉車
八等	A〇注射
九等	わかもと
十等	中將湯
十一等	ギオンポマード
十二等	シヤオリエンテ

其他二百名に本紙無料購讀券